

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成22年8月23日

施設名	森林研修センター情報交流館	所管課名	林業環境政策課
-----	---------------	------	---------

## 1 施設の概要

指定管理者名	情報交流館ネットワーク	指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町大平80番地		
事業内容	(1) 情報交流館の施設の利用の許可等に関する業務 (2) 利用料金の徴収に関する業務 (3) 情報交流館の施設及び設備の維持管理に関する業務 (4) 情報交流館の利用促進に関する業務 (5) 前各号に掲げるもののほか、情報交流館の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 情報交流館：木造、平屋建、延床面積599.44㎡ 開館時間：午前9時から午後5時まで 休館日：①月曜日（その日が国民の休日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その日後の直近の休日以外の日）、②休日の翌日（その日が日曜日又は休日に当たるときを除く。）、③12月29日から翌年の1月3日まで 主な利用料金：1時間につき、研修室・木工室・企画展示室300円（370円）、シアター630円（780円）、（ ）は休館日		
職員体制	常勤職員： 3人	非常勤職員： 人	合計： 3人

(平成22年7月1日現在)

## 2 収支の状況

単位：千円

		平成20年度(決算)	平成21年度(決算)	平成22年度(予算)
収入	県支出金	14,409	14,307	14,307
	使用料・手数料	2,453	2,151	2,000
	その他	367	231	
	収入計 (a)	17,229	16,689	16,307
支出	事業費	2,482	1,820	2,010
	管理運営費	2,884	2,820	3,300
	人件費	10,960	11,294	10,997
	その他			
	支出計 (b)	16,326	15,934	16,307
収支差額 (a)－(b)		903	755	0

### 3 利用状況

	平成20年度(実績)	平成21年度(実績)	平成22年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	10,281	9,846	10,000
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)            時期: 出前授業、各種体験授業、ボランティア養成講座等の後            方法: イベント終了時、参加者及び指導者の方々に感想文やアンケートの提出を求めている。            回答数: 約5,000            結果: 「楽しかった」、「今まで体験できなかったことが体験できた」、「森や植物のことがよく分かった」、「機会があればまた来たい」等の感想が寄せられ、引率者(先生)方からも良い印象である。</p> <p>○ その他            学校側と打ち合わせをするなど、利用者のねらいを把握し、適切なスタッフの割り振りや希望に沿うような形での活動内容の実践を心がけている。円滑な運営のための事前準備や利用フィールドのチェック、スタッフへの指導内容の徹底などを欠かさずに行い、利用者側も指導者側も有意義な一日が過ごせるようにできる限りの配慮をしている。            感想文やアンケートを参考にし、改善すべき点は改善し、より良いサービスの向上に努めている。</p>		
③その他特記事項			

### 4 平成21年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<p>①常勤職員は3名であるが、イベント時等はネットワークのボランティアの応援体制もできている。</p> <p>②施設内もおおむね適正に管理され、来館者に対するパンフレットの配布や危険に対する注意喚起を行うなど、利用者の安全確保もできている。</p>
②利用者サービスの維持向上	<p>①学校現場からみて、事前の打ち合わせにより学校側の要望を把握し、ニーズに合わせた内容でプログラムを実施するなど質の高い環境学習をコーディネートしてもらえる点で評価できる。</p> <p>②インターネットや紙媒体(チラシ・ポスター)、マスコミ(新聞・テレビ・ラジオ等)を利用してより広く情報発信している。また、出前授業の際に宣伝する等地道な広報活動にも努めている。</p> <p>③雨天時にも100~150名受け入れ可能等、情報交流館の特徴を明確にし、修学旅行生等新規顧客の獲得に向けた取り組みが望まれる。</p>
③利用実績	<p>年度利用者数は422回13,745人となり、当初目標(協定書の137回)以上の実績件数となっている。19年度、20年度を下回る結果となっているので、22年度は、事業回数を増やす等改善が望まれる。</p>
④収支の状況	<p>①おおむね予算どおりに執行されている。</p> <p>②参加者の負担を最小限にするということで収益が少ないが、ピザ作り等イベントによっては収益をあげることも検討すべき。</p>
総合評価 (A~D4段階)	<p><b>B</b></p> <p>①現在は、情報交流館ネットワークに加盟する各団体の協力のもとで、人材を活かした運営がされているが、高齢化が進展している状況もあって、今後、活動を維持していくために、早急に後継者を育成することが望まれる。</p> <p>②限られた管理費で、おおむね適正な管理が行われている。</p>

#### 【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの  
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの  
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの